

14時30分解禁

平成20年7月 全国百貨店売上高概況

平成20年8月18日

I. 概況

1. 売上高総額	7,062億円余
2. 前年同月比	-2.5% (店舗数調整後/5か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	93社 280店 (平成20年6月対比±0社0店)
4. 総店舗面積	6,806,705㎡ (前年同月比:0.7%)
5. 総従業員数	102,349人 (前年同月比:7.6%)
6. 3か月移動平均値	12-2月 -1.5%、1-3月 -1.0%、2-4月 -1.4%、 3-5月 -2.4%、4-6月 -4.6%、5-7月 -4.2%

[参考] 平成19年7月の売上高増減率は-4.3% (店舗数調整後)

【7月売上の特徴】

5か月連続で前年同月比マイナスとなった。

7月は、全国的に梅雨明けが早く好天に恵まれたことや、多くの店舗で夏の全館セールを開始日を前年の6月末日から7月1日にシフトした反動増などにより、月の前半までは衣料品を中心に比較的好調に推移したものの、物価上昇や景気の先行き不安などによる消費マインドの減退から中旬に入って以降は伸び悩み、前年の売上実績には届かなかった。

高温多照の天候で盛夏商材が活況だったこと、最近の景況を反映して値頃感を訴求する商材が好評を得ていること、化粧品が引き続き堅調であることなど一部プラス要素も見られたが、前年に比べ日曜日が1日減少したこと、株安等の逆資産効果もあって美術・宝飾等の高額品が依然不振であること、猛暑で秋物衣料に動きが見られなかったことなどが影響し、前月(-7.6%)からは改善したものの最終的には減収基調が続く結果となった。

なお、セール開始日の特殊要因を平準化した6月・7月累計伸び率は-4.9%であった。

【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「7月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇ 梅雨前線は平年に比べ活動が弱く、全国的に早い梅雨明けとなった。東日本、西日本、沖縄・奄美では太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日が多く、特に西日本の日照時間はかなり多かった。

(2) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 9日 (" -1日/日曜1日減)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した:39店、②変化なし:51店、③減少した:58店、④不明:45店

(5) 7月歳時記 (夏祭り/七夕・花火大会等、新暦お盆、夏休み) の売上 (同上)

①増加した:6店、②変化なし:81店、③減少した:21店、④不明:85店

(6) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)

①増加する:16店、②変化なし:89店、③減少する:30店、④不明:58店

全国百貨店 売上高速報 2008年07月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
全 国	706,201,763	100.0	* -2.5 (-2.3)
10都市	457,123,486	64.7	-2.1 (-1.6)
札幌	17,662,639	2.5	-0.1
仙台	9,880,106	1.4	-0.5
東京	174,886,048	24.8	-0.9 (0.2)
横浜	38,425,052	5.4	0.7
名古屋	43,498,616	6.2	-5.3
京都	27,039,223	3.8	-2.0
大阪	90,315,935	12.8	-4.4
神戸	18,721,829	2.7	-4.5
広島	16,906,329	2.4	-4.0
福岡	19,787,709	2.8	3.2
10都市以外の地区	249,078,277	35.3	-3.3 (-3.5)
北海道	4,148,020	0.6	-5.8 (-15.9)
東北	12,268,731	1.7	-6.2
関東	116,827,185	16.5	-3.4
中部	20,652,979	2.9	-2.3
近畿	22,456,311	3.2	-2.1
中国	17,014,028	2.4	-4.5
四国	14,284,663	2.0	-4.4
九州	41,426,360	5.9	-2.0

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	706,201,763	100.0	* -2.5 (-2.3)
紳士服・洋品	47,398,865	6.7	-0.6 (-0.7)
婦人服・洋品	173,294,424	24.5	-0.9 (-0.9)
子供服・洋品	16,697,599	2.4	3.4 (3.3)
その他衣料品	20,409,754	2.9	-4.9 (-4.9)
衣 料 品	257,800,642	36.5	-0.9 (-0.9)
身のまわり品	85,137,362	12.1	-4.5 (-4.2)
化粧品	29,523,145	4.2	4.6 (4.6)
美術・宝飾・貴金属	32,631,929	4.6	-8.2 (-8.3)
その他雑貨	29,057,673	4.1	-5.5 (-4.7)
雑 貨	91,212,747	12.9	-3.5 (-3.3)
家 具	10,099,694	1.4	-12.6 (-12.5)
家 電	2,168,882	0.3	-4.8 (-4.8)
その他家庭用品	19,471,927	2.8	-6.1 (-6.0)
家 庭 用 品	31,740,503	4.5	-8.2 (-8.1)
生 鮮 食 品	40,755,133	5.8	-2.3 (-2.4)
菓 子	45,326,695	6.4	0.3 (0.2)
惣 菜	37,232,711	5.3	-2.8 (-2.8)
その他食料品	83,036,440	11.8	-3.0 (-2.4)
食 料 品	206,350,979	29.2	-2.1 (-1.9)
食 堂 喫 茶	18,766,142	2.7	1.5 (2.8)
サ ー ビ ス	6,046,801	0.9	-2.3 (-1.0)
そ の 他	9,146,587	1.3	-9.7 (-9.7)
商 品 券	38,753,079	5.5	-7.1 (-7.1)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | | |
|------------------|-------|--------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -2.1% | (店舗数調整後/5か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -3.3% | (" /13か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-2.1	-1.3	5か月連続マイナス
札幌	-0.1	0.0	11か月連続マイナス
仙台	-0.5	0.0	3か月連続マイナス
東京	-0.9	-0.2	5か月連続マイナス
横浜	0.7	0.0	5か月ぶりプラス
名古屋	-5.3	-0.3	8か月連続マイナス
京都	-2.0	-0.1	5か月連続マイナス
大阪	-4.4	-0.6	5か月連続マイナス
神戸	-4.5	-0.1	4か月連続マイナス
広島	-4.0	-0.1	5か月連続マイナス
福岡	3.2	0.1	3か月ぶりプラス
10都市以外の地区	-3.3	-1.2	13か月連続マイナス
北海道	-5.8	0.0	9か月連続マイナス*
東北	-6.2	-0.1	4か月連続マイナス*
関東	-3.4	-0.6	13か月連続マイナス
中部	-2.3	-0.1	4か月連続マイナス
近畿	-2.1	-0.1	4か月連続マイナス
中国	-4.5	-0.1	2か月連続マイナス*
四国	-4.4	-0.1	13か月連続マイナス
九州	-2.0	-0.1	11か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、全品目がマイナスとなった。化粧品・菓子は前年比較を開始して以来19か月連続プラス、子供服・洋品が4か月ぶりにプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-2.5	-	5か月連続マイナス
紳士服・洋品	-0.6	0.0	4か月連続マイナス
婦人服・洋品	-0.9	-0.2	13か月連続マイナス
子供服・洋品	3.4	0.1	4か月ぶりプラス
その他衣料品	-4.9	-0.1	5か月連続マイナス
衣料品	-0.9	-0.3	13か月連続マイナス
身のまわり品	-4.5	-0.6	11か月連続マイナス
化粧品	4.6	0.2	19か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-8.2	-0.4	17か月連続マイナス*
その他雑貨	-5.5	-0.2	8か月連続マイナス*
雑貨	-3.5	-0.5	5か月連続マイナス
家具	-12.6	-0.2	8か月連続マイナス
家電	-4.8	0.0	7か月連続マイナス
その他家庭用品	-6.1	-0.2	5か月連続マイナス
家庭用品	-8.2	-0.4	8か月連続マイナス
生鮮食品	-2.3	-0.1	15か月ぶりマイナス*
菓子	0.3	0.0	19か月連続プラス*
惣菜	-2.8	-0.1	2か月連続マイナス*
その他食料品	-3.0	-0.4	2か月連続マイナス*
食料品	-2.1	-0.6	7か月ぶりマイナス
食堂喫茶	1.5	0.0	4か月ぶりプラス
サービス	-2.3	0.0	2か月連続マイナス
その他	-9.7	-0.1	10か月連続マイナス
商品券	-7.1	-0.4	13か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成20年7月 東京地区百貨店売上高概況

平成20年8月18日

I. 概況

1. 売上高総額	1,748億円余
2. 前年同月比	-0.9% (店舗数調整後/5か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭 の増減	店頭-0.0% (88.9%) : 非店頭-7.6% (11.1%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 28店 (平成20年6月対比±0社0店)
5. 総店舗面積	988,391㎡ (前年同月比: 3.0%)
6. 総従業員数	19,266人 (前年同月比: 3.5%)
7. 3か月移動平均値	12-2月 -0.5%、1-3月 -0.1%、2-4月 0.3%、 3-5月 -1.2%、4-6月 -3.6%、5-7月 -3.5%

[参考] 平成19年7月の売上高増減率は-3.9%

【7月売上の特徴】

- (1) 今年の中元商戦は通期(6月・7月)の累計売上ではほぼ前年並みであったが、インターネット受注はほとんどの店で2桁の伸びを示した。
また、期間中の動向としては、早期割引などで6月が好調だった前半型の店と7月に入って盛り返した後半型の店に分かれている。
- (2) 夏の全館セールは概ね順調に推移したが、開始日の7月1日が平日であったことや、6月下旬から部分的に先行スタートした店もあったことから市場の関心度が分散し、例年のようなセール初日のインパクトはやや薄れる結果となった。
- (3) 主力商材の婦人服は、セール品もプロパー品もいずれも、シャツ、ブラウス、カットソー、パンツ等の单品コーディネートアイテムが好調で、昨年まで好調を続けたワンピース一辺倒のトレンドは明確に変化してきている。
- (4) 猛暑の影響で、UV対策関連商材(化粧品、帽子、日傘、手袋、サングラス等)が大幅に売上を伸ばしたほか、屋上ビアガーデンを併設する店舗はどこも盛況で、その売上が前年の2倍以上を記録するケースもあった。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
①増加した: 7店、②変化なし: 8店、③減少した: 5店、④不明: 3店
- (3) 7月歳時記(夏祭り/七夕・花火大会等、新暦お盆、夏休み)の売上(同上)
①増加した: 2店、②変化なし: 9店、③減少した: 2店、④不明: 10店
- (4) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
①増加する: 1店、②変化なし: 16店、③減少する: 3店、④不明: 3店

東京地区百貨店 売上高速報 2008年07月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	174,886,048	100.0	* -0.9 (0.2)
紳士服・洋品	13,469,774	7.7	-0.6 (-0.6)
婦人服・洋品	41,589,671	23.8	1.4 (2.1)
子供服・洋品	2,896,767	1.7	5.6 (6.3)
その他衣料品	4,541,890	2.6	-2.2 (-2.0)
衣 料 品	62,498,102	35.7	0.9 (1.4)
身のまわり品	23,249,087	13.3	-0.1 (1.4)
化粧品	7,386,848	4.2	6.5
美術・宝飾・貴金属	8,562,401	4.9	-5.6
その他雑貨	9,300,248	5.3	-1.5 (1.3)
雑 貨	25,249,497	14.4	-0.8 (0.3)
家 具	3,023,512	1.7	-5.3 (-4.4)
家 電	628,074	0.4	-20.8
その他家庭用品	5,346,807	3.1	-5.9 (-5.0)
家 庭 用 品	8,998,393	5.1	-6.9 (-6.1)
生 鮮 食 品	6,490,999	3.7	-2.0
菓 子	11,487,133	6.6	1.3
惣 菜	8,679,830	5.0	-2.3
その他食料品	19,827,528	11.3	-4.0 (-0.9)
食 料 品	46,485,490	26.6	-2.1 (-0.8)
食 堂 喫 茶	4,358,615	2.5	2.8 (8.9)
サ ー ビ ス	1,817,849	1.0	3.4 (8.2)
そ の 他	2,229,015	1.3	-17.5 (-17.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

○本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	6,983,670 千円	-8.6
従 業 員 数	19,266 人	3.5
店 舗 面 積	988,391 m ²	3.0

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、プラスは衣料品。マイナスは身のまわり品、雑貨、家庭用品、食料品。化粧品・菓子は19か月連続プラス、婦人服・洋品、子供服・洋品がプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-0.9	-	5か月連続マイナス
紳士服・洋品	-0.6	0.0	4か月連続マイナス
婦人服・洋品	1.4	0.3	11か月ぶりプラス
子供服・洋品	5.6	0.1	4か月ぶりプラス
その他衣料品	-2.2	-0.1	3か月連続マイナス
衣料品	0.9	0.3	5か月ぶりプラス
身のまわり品	-0.1	0.0	4か月連続マイナス
化粧品	6.5	0.3	19か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-5.6	-0.3	9か月連続マイナス*
その他雑貨	-1.5	-0.1	2か月連続マイナス*
雑貨	-0.8	-0.1	3か月連続マイナス
家具	-5.3	-0.1	4か月連続マイナス
家電	-20.8	-0.1	7か月連続マイナス
その他家庭用品	-5.9	-0.2	2か月連続マイナス
家庭用品	-6.9	-0.4	2か月連続マイナス
生鮮食品	-2.0	-0.1	15か月ぶりマイナス*
菓子	1.3	0.1	19か月連続プラス*
惣菜	-2.3	-0.1	4か月連続マイナス*
その他食料品	-4.0	-0.5	2か月連続マイナス*
食料品	-2.1	-0.6	2か月連続マイナス
食堂喫茶	2.8	0.1	2か月ぶりプラス
サービス	3.4	0.0	4か月連続プラス
その他	-17.5	-0.3	21か月連続マイナス
商品券	-8.6	-0.4	5か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド